

今、新しい一歩を

1997年、長岡京市民アンサンブルを支援していた歯科医師故戸渡孝一郎氏と意気投合、プロを目指す若い演奏家の成長と実践の場となる長岡京室内アンサンブルを創設しました。以来25年、今では多くのメンバーが国内外で大活躍をしています。そこで、私は今、私に残された時間、もう一度原点に戻って、長年心にずっと抱き続けてきたこと、どうしてもやり遂げたいことに挑戦することにしました。アンサンブルが2003年に渡欧し、パリ・ユネスコ本部とトルコ、イスタンブールで＜平和のための序曲＞に出演した時の記憶、そこでは宗教、国籍、人種を超え、演奏を通じ音楽の持つエネルギーによって人々の心に平和が生まれる瞬間を私は体験しました。アンサンブルにおいて私を支えているのはこの時の強烈な印象です。

新しい一歩はここから。長岡京室内アンサンブルを根付かせて下さった長岡京市民の皆様と長岡京室内アンサンブルを愛し、支え続けて下さった皆様と、この一歩を踏み出したいと強く思っています。時は今、コロナが収束し、移動が自由になりました。

今回の演奏会はその一歩の始まりです。クラシックの本場・欧州の大舞台に立ち、アーノンクールやアバド、クレメールと言った偉大な音楽家と演奏して来た安紀ソリエールと、彼女が心から信頼する音楽仲間たち、そして今回は世界からも賞賛される若き巨匠、ピアニスト小菅 優さんをゲストにお迎えし、モーツァルトとブラームスの室内楽作品傑作選をお届けします。

森 悠子

森 悠子 (長岡京室内アンサンブル 音楽監督)

Yuko Mori, music director

教育哲学者・森昭の次女。6歳より才能教育でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、齋藤秀雄教授の助手を務めたのち、旧チェコスロバキア、フランスに留学。74年バイヤール室内管弦楽団入団。77～87年フランス国立放送管に在籍。リヨン国立高等音楽院助教授、ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院教授、くらしき作陽大学音楽学部教授を歴任。89年フランスの国立高等音楽院の教育システムを取り入れ、教授陣を招聘して毎春開催する京都フランス音楽アカデミーを創案、初代音楽監督に就任。97年長岡京室内アンサンブル設立。フランス政府より91年芸術文化勲章「シュヴァリエ章」03年同「オフィシエ章」授与。京都府あけぼの賞、京都府文化賞功労賞、京都市芸術振興賞、長岡京市文化功労賞など受賞多数。著書に「ヴァイオリニスト 空に飛びたくて」(春秋社)がある。

安紀ソリエール (ヴァイオリン/長岡京室内アンサンブル共同音楽監督)

Aki Saulière, violin / co-music director

ヨーロッパのクラシック音楽界の大舞台に立ち、室内楽、オーケストラ、教育のすべてのジャンルで活躍しているヴァイオリニスト。ルノー&ゴティエ・カピュソンと共にカピュソン・カルテットを結成。ベルリンフィル カラヤンアカデミーの第1期生としてオーケストラの現場で研鑽を積み、ルツェルン祝祭管、ヨーロッパ室内管のメンバーとしてアバド、アーノンクール、ハイティンクなどの巨匠のもとで音楽的感性を磨いた。またガーティナーやヘレヴェツェなどの指揮のもと、ピリオド楽器での演奏活動多数。フランスのラ・ロワンテーヌで芸術監督を務め、室内楽演奏会の出演・プロデュースのほか、若手演奏家を対象とした教育プログラムを企画。欧州プロオーケストラで活躍する門下生も多い。森悠子、デイヴィッド・タケノ、フェレンツ・ラドシュ、ジェルジ・クルターから優れた音楽家/指導者に師事。ブリュッセル王立音楽院ヴァイオリン科教授。

ゲスト・アーティスト

小菅 優 (ピアノ)

Yu Kosuge, piano

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤らの指揮でBBC響やNDRエルブフィルと共演。10年ザルツブルク音楽祭でボゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。14年、芸術選奨音楽部部門 文部科学大臣新人賞、17年、サントリー音楽賞受賞。録音は、ソニーから発売している『藤倉大: ピアノ協奏曲<インパルス> & WHIM/ラヴェル: ピアノ協奏曲長調』(文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト“ソナタ・シリーズ”を始動。

木下 真希 (ヴァイオリン)

Maki Kinoshita, violin

京都出身。3歳よりヴァイオリンを始める。9歳から森悠子に師事。日本クラシック音楽コンクール奨励賞受賞。第49、50回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校生の部入選。京都芸術祭に参加。京都市立堀川高校音楽科弦楽科首席卒業後、渡英。ギルドホール音楽院にてJ. グリックマン、D. タケノの両氏に師事、音楽学士・修士課程を修了。長岡京室内アンサンブル、兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設時のメンバーとして参加。NHK「名曲リサイタル」にてテレビ・ラジオ出演。日本クラシックコンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員。

シルヴィア・シモネスク (ヴィオラ)

Silvia Simonescu, viola

欧州、北米、アジアの一流コンサートステージで活躍している世界的ヴィオラ奏者。ルーマニアに生まれ、6歳からヴァイオリンを始める。スイスのユーティ・メニューイン国際音楽アカデミーで、ユーティ・メニューイン、アルベルト・ライシー、ヨハネス・エスカールにヴァイオリンとヴィオラを師事。室内楽奏者として、チュマチェンコ、安紀ソリエール、ジョシュア・ベル、フライシャーなどの音楽家と交流し、世界の音楽祭に多数招かれている。2009年からはグリーンゴルト弦楽四重奏弾のメンバーとしても活躍。現、バーゼル音楽大学ヴィオラ科及び室内楽科教授。

ラファエル・ベル (チェロ)

Raphael Bell, cello

オーケストラ、室内楽、プロデューサー、教育のすべてが注目されているアメリカ人チェリスト。世界一流のコンサートホールや音楽祭で活躍し、アルゲリッチ、クレメルらと共演。ロイヤル・フィルハーモニック協会室内楽賞など受賞多数。マラー・チェンバー・オーケストラのメンバーとして、ルツェルン音楽祭でのマラー交響曲シリーズに参加。ジュリアード音楽院でチェロを学び、シャピロ、ブルネロ、イッサーリスら巨匠から多くの薫陶を受けた。米バージニア州のシャーロットビル室内楽音楽祭の共同設立者兼共同音楽監督。アントワープ交響楽団首席チェロ奏者。

吉田 誠 (バセットクラリネット)

Makoto Yoshida, basset clarinet

15歳からクラリネットを、22歳から小澤征爾、湯浅勇治のもとで指揮を学ぶ。20歳から森悠子に室内楽を師事。文化庁海外新進芸術家派遣員としてパリ国立高等音楽院及びジュネーヴ国立高等音楽院で学んだ。ソニーミュージックからブラームス&シューマン作品集を世界リリース(朝日新聞特選盤、レコード芸術室内楽部門特選盤)。文科学習指導要領教育芸術社小学校音楽教科書準拠DVDで演奏が紹介。これまでに数多くの国際音楽祭や国内外のオーケストラにソリストとして招かれる他、日欧でリサイタル、室内楽公演を重ねている。園城寺の「おとの三井寺」芸術監督。

公開マスタークラス開催決定! 長岡京市民・関西で活動する音楽家を対象

2024年 2月3日(土) 15:00~20:50 2月8日(木) 15:00~20:50 長岡京市立中央公民館市民ホール

【ヴァイオリン部門】 講師: 安紀ソリエール(ブリュッセル王立音楽院教授)
【ヴィオラ部門】 講師: シルヴィア・シモネスク(バーゼル音楽大学教授)
【チェロ部門】 講師: ラファエル・ベル(アントワープ交響楽団首席奏者)
【クラリネット部門】 講師: 吉田 誠(クラリネット・ソリスト)

※各コース定員5名
※レッスン時間: 50分間

受講料: 20,000円(税込)

詳細は
QRコードから
ご確認ください



主催: 特定非営利活動法人 音楽への道CEM 後援: 長岡京芸術劇場実行委員会 / 公益財団法人京都府長岡京記念文化事業団